体言

自立語の中で、活用がなく、**主語になる**ことができるものを**体言**という。品詞では、名詞が体言に当たる。

(例) 空が青い。

●**名詞**…物事の名前を表す。物事を指し示す。**活用しない**。

普通名詞	ある種類に属する物事などを広く表す。 (例) 山・花・学校
固有名詞	人名・地名など特定のものを表す。 (例) 夏目漱石・東京・万葉集
代名詞	人や物事、場所、方向などを指し示す。 (例) 人称代名詞…私・あなた・彼・誰 指示代名詞…これ・そこ・あちら・どれ
数詞	数量や順序を表す。 (例) 一人・二個・いくつ・何本
形式名詞	本来の意味が薄れ、常に連体修飾語とともに使われる。 (例) 勉強すること　暑いとき　雨のため

名詞の中には、別の単語が変化してできたものもある。

・品詞の転成

(例) 動く(動詞) → 動き

重い(形容詞) → 重さ・重み

※「さ・み」は名詞をつくる接尾語

・複合語

(例) 国語＋辞典 → 国語辞典

山＋登る → 山登り

・接頭語＋名詞、名詞＋接尾語

他の語の上下に付いて意味を添える語を、接頭語・接尾語という。接頭語・接尾語はそれだけでは単語としない。

(例) お米　ご連絡　山田さん

名詞の用法

名詞は、主語のほか、述語・修飾語・接続語・独立語になる。

(例) 中学生(主)が遊んでいる。　彼は中学生だ(述)。　中学生の(修飾)教科書。

確認テスト

(1) 次の①～⑧の名詞の種類を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 国語　② それ　③ 三度
④ 百冊　⑤ ネコ　⑥ 信濃川
⑦ 誰(だれ)　⑧ 枕草子

ア 普通名詞　**イ** 固有名詞　**ウ** 代名詞　**エ** 数詞

(2) 次の中から、――線部が形式名詞であるものを三つ選びなさい。

ア あの人はどなたですか。
イ 子どものときから知っています。
ウ 郵便局はどこにあるのだろう。
エ ちょうど今着いたところです。
オ こんな日に雪が降るわけがない。
カ 提出日はいつだろう。

(3) 次の中から、――線部が名詞であるものを二つ選びなさい。

ア ここはにぎやかな通りだ。　**イ** そこを通ります。
ウ 学校の近くに引っ越(こ)す。　**エ** 駅に近くない。

(4) 例に従って、次の各文に含まれる名詞を全て□で囲みなさい。

(例) [彼]は[中学生]だ。

① その人から私はお菓子をもらった。
② 読書感想文を書くことの難しさがわかった。

(5) 次の中から、――線部の文節に名詞を含むものを選びなさい。

ア 流れる水。　**イ** 冷たい水。
ウ 川の水。　**エ** きれいな水。